

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

「渡島噴火湾北部圏域」は、北海道南部渡島総合振興局管内のうち八雲町を有する北部に位置しており、第1種漁港1港、第2種漁港1港を有している。

落部漁業協同組合は、ホタテ養殖漁業が主力で、水産物の付加価値の向上のために、衛生管理を行っている。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

主たる漁業種類はホタテガイ養殖漁業であり、その他サケ定置網漁業、カレイ刺網漁業等が営まれている。

漁業従事者数は523人と圏域内就業人口の約50%、漁業生産額は圏域内総生産額の約30%を占めており、漁業が地域の主要産業となっている。

③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域内は、1つの産地市場を有し、流通拠点漁港として第2種落部漁港が存在する。

ホタテは、むき身、玉冷等に加工され、道内や全国に出荷されている。

④ 養殖業の状況

当圏域内は、ホタテガイ養殖漁業が多く営まれており、養殖用種苗については、約半数を自賄い、その他を胆振、留萌管内から確保し、安定した供給を行っている。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

令和元年港勢調査によれば、当圏域の漁業経営体数は179戸、組合員数は271人となっており、経営体数と組合員数が近接している。また、平成27年と比較すると漁業経営体数は92%、組合員数94%とそれぞれ減少している。

⑥ 水産業の発展のための取組

当圏域内の主幹漁業であるホタテガイ養殖漁業、サケ定置網漁業の発展に取り組む

ため、ホタテガイ養殖漁業では、公的研究機関と連携した効率的な洗浄機器や技術の導入、サケ定置網漁業では、地域の伝統的な技法による山漬加工を全面に出した販促イベントでの消費拡大等を行っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

水産物供給の衛生管理が課題となっているため、屋根付き岸壁の整備による荷揚げ作業、計量作業の一連した作業動線化を図る。

また、老朽化の著しい漁港施設の機能保全対策が必要である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

当圏域では既に漁港機能の集約化が進んでおり、特段の将来的な構想は無い。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点（一般）型	設定理由； 水産物を集約する産地市場を有する流通拠点港でセリ等を行い、消費地や加工場へ出荷する。
② 圏域範囲	八雲町の漁港	設定理由； 流通拠点漁港へ水産物を集約している。
③ 流通拠点漁港	落部漁港	設定理由； ・圏域内最大の産地市場を有し、水産物が集約され、属地陸揚金額 24 億円以上の水産物を取り扱うなど、水産物流通の拠点的役割を有する。 ・ホタテガイ養殖業や刺網漁業の操業拠点として圏域内水産業の振興上特に重要な役割を担っている。 ・栽培漁業対象種であるホタテガイの漁業生産が非常に多く、地域の増養殖生産の拠点となっている。 ・高度衛生管理に対応済みである。 ・災害発生後も圏域内の生産・流通の拠点として機能を早期に回復させるための体制整備については、周辺の漁港や港湾における整備状況を勘案しながら検討していく。災害時の漁港利用者の避難

		対策についても同様。
④ 生産拠点漁港	山越漁港	設定理由； 地先に優れた漁場を有し、ホタテガイ養殖業や刺網漁業の操業拠点として圏域内市産業の振興上特に重要な役割を担っている。
⑤ 輸出拠点漁港	1) 落部漁港 2) 山越漁港	設定理由； ホタテガイの輸出実績があり、今後輸出量の増加が期待できる。

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(ト)	7, 660	圏域の登録漁船隻数(隻)	342
圏域の総漁港数	2	圏域内での輸出取扱量(ト)	不明
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数			

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	渡島噴火湾中部養殖生産拠点地域
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	ホタテガイ
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(ト)	3,897t
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	100百万円

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

・生産・流通機能の強化

当圏域内のサケ定置網漁業で漁獲されるサケについて、付加価値向上のため、地域の伝統的な技法での山漬加工を全面に出した販促イベントの開催による消費者への浸透を図る。

落部漁港(流通拠点漁港)のホタテガイやサケなどの6魚種については、衛生管理レベル「L2」を満たしており、引き続き「L3」を目指すため取組内容の検討を行っている。

・輸出促進への対応

当圏域内のホタテガイの主要輸出国は中国や韓国であるが、EU 向け生産海域に指定されている強みを活かし、EU 各国や東南アジア等輸出相手国の多様化を図る。

②養殖生産拠点の形成

ホタテガイ養殖漁業の生産拠点としての機能維持・向上を図るため、ザラボヤ除去に必要な機器や技術の導入を推進する。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域は低気圧による被害や海洋環境の変化によるコンブの漁場や魚類の育成場となる藻場が減少し代表的な磯根資源であるコンブの漁獲量が減少している。

このため、生育環境の整備により漁獲量の安定、増加が期待される魚種として、沿岸から沖合まで成長に伴い移動するソイ類やアイナメの育成の場やコンブの漁場となる藻場を底質改善による回復及びコンブが繁茂する整備水深を考慮した施設によって整備することにより、水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を図る。

②災害リスクへの対応力強化

・被災後の地域水産業の早期再開

落部漁港（流通拠点漁港）では、令和3年12月に「落部漁港業務継続計画」を策定し、災害発生後における水産業の早期再開を可能とする体制を構築している。

・持続可能なインフラ管理の推進

当圏域には、老朽化の著しい漁港施設があるため、機能保全事業により予防保全型の老朽化対策を行っている。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

落部漁港では観光客も訪れる即売会等のイベントを実施しており、水産物を通じて地域の活性化に取り組んでいる。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

多様な担い手の活躍を推進するため、就労環境や生活環境の改善に繋がる漁港整備を推進する。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

「2. 圏域における水産基盤の基本方針」のとおり。

② 養殖生産拠点の形成

「2. 圏域における水産基盤の基本方針」のとおり。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
噴火湾周辺	藻場・干潟	水産環境整備事業

低気圧による被害等により藻場が減少している沿岸域に、コンブ漁場やソイ類、アイナメといった魚類稚魚の育成場となる藻場整備やウニの密度管理による藻場の維持管理を行うほか、小型海藻類等の繁茂により荒廃したコンブ漁場の回復のため、岩盤清掃や底質改善を実施する。

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
落部	予防保全	機能保全	落部	2	○
山越	予防保全	機能保全	山越	1	

漁港施設の老朽化や破損状況を把握し、予防保全型の対策を行うことで、漁業環境の安全確保を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

「2. 圏域における水産基盤の基本方針」のとおり。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

「2. 圏域における水産基盤の基本方針」のとおり。

4. 環境への配慮事項

当圏域内には、周辺海域が砂浜地帯となっているため、漂砂による海岸環境への悪影響が懸念されたことから漂砂の影響を考慮した港形にしたり、隣接する河川へ

の影響を最小限にするよう拡張位置を河川と反対側に展開するなど海岸環境並びに水産動植物の生育環境の保全など環境に配慮した整備を実施してきた。

また、沿岸域へ藻場を整備することにより、水質の浄化作用や、沿岸の藻場を生育場とする魚類等の生活環境が創造され、幼稚魚や未成魚の保護・育成効果が期待できる。

5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

北海道渡島総合振興局水産物流通圏域図

渡島噴火湾北部圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点：②八雲漁港
 圏域総陸揚量：12,117トン
 圏域総陸揚金額：42億円
 漁港6港(7地区)、港湾0港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：10,408トン
 圏域海面養殖業総産出額：33億円
 主要養殖魚種：ホタテガイ

渡島噴火湾中部圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点：②落部漁港
 圏域総陸揚量：7,660トン
 圏域総陸揚金額：20億円
 漁港2港(4地区)、港湾0港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：3,897トン
 圏域海面養殖業総産出額：10億円
 主要養殖魚種：ホタテガイ

渡島噴火湾南部圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点：③砂原漁港
 圏域総陸揚量：20,054トン
 圏域総陸揚金額：37億円
 漁港6港、港湾1港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：3,095トン
 圏域海面養殖業総産出額：8億円
 主要養殖魚種：ホタテガイ

渡島北部圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点：②鹿部漁港
 圏域総陸揚量：9,736トン
 圏域総陸揚金額：24億円
 漁港2港(3地区)、港湾0港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：3,274トン
 圏域海面養殖業総産出額：10億円
 主要養殖魚種：ホタテガイ

渡島東部圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点：③臼尻漁港
 圏域総陸揚量：40,726トン
 圏域総陸揚金額：75億円
 漁港6港(10地区)、港湾0港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：11,552トン
 圏域海面養殖業総産出額：40億円
 主要養殖魚種：コンブ類

渡島中部圏域 生産力向上型
 圏域総陸揚量：15,147トン
 圏域総陸揚金額：62億円
 漁港21港(30地区)、港湾2港
 〈養殖生産〉
 圏域養殖総生産量：6,462トン
 圏域海面養殖業総産出額：19億円
 主要養殖魚種：コンブ類

渡島西部圏域 生産力向上型
 圏域総陸揚量：1,920トン
 圏域総陸揚金額：10億円
 漁港9港(11地区)、港湾1港

出荷凡例詳細

50t未満	→
50～100 t	→
100～500 t	→
500～1000 t	→
1000～5000 t	→
5000t以上	→

●：流通拠点漁港(うち流通・輸出拠点漁港)

◎：生産拠点漁港(うち流通・輸出拠点漁港)

○：一般漁港

■：港湾(漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)

☆：産地市場

漁業：主な魚種
 (主な漁業種が、(大漁) (巻き網・底引き網等。))
 (丸網、刺網、曳網、魚籠、魚網、魚籠) の場合は示す)

←：水産物集約(漁船陸揚場)

←：水産物集約(陸送)

→：加工場・消費地への出荷
 (主な出荷先として、圏域内(域内)、圏域外の県内、
 県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を
 できる限り示す。)

←：養殖に係る水産物の流れ

■：養殖漁場

